

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		22.2%	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用時間の分散、職員同士で席について話し合うこと。 ● 職員の目が行き届くよう、担当と導線を検討しながら人数に配慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> ● パートさん、バイトさんが増えていること。 ● 3月中旬にはアルバイトが一人退職するため、今後の人で不足が予想される。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> ● ビル入り口の段差、指導訓練室までのドア、進入口が狭い。エレベーターも大型の車いす等は入らないと思われる。 ● 電気コード等の配線にカバーを付ける、人が歩くのに十分なスペースを得られるよう管理表整備に努める
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	66.7%	33.3%		<ul style="list-style-type: none"> ● 他事業所を見習い、事業所内ミーティングを1回/週行っている。又、都度必要に応じて樹夫報の共有をスラック等で行っている。 ● 目標を掲げてはいるが一部自主的には参加していない職員がいるので、今後の方法を模索している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ● 事業所MTGを定期的に行い、保護者からのニーズは全体で共有している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンラボ等でお知らせすることで幅広く周知できる
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33.3%	66.7%		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ● 週に一度の事業所MTG、研修等の案内、面談等を随時行っている
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ● 計画を作成するにあたって、内容を担当職員とのすり合わせるなどして確認を重ねている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	33.3%	33.3%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ● 体験時の内容を担当者で確認するとともに、体験後の職員からの聞き取りも行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		33.3%	66.7%	<ul style="list-style-type: none"> ● 個別対応の為、基本的に個人に任せているが、内容をシステム等で共有することで全体的にチェックし、相談等もMTGや面談等を利用して聞き出している。 ● 事業所の強味を活かした療育が提供できる手段を職員で探している。 ● 活動ツールなどを共有している。他の利用者の活動報告を確認することから情報や得やすいと言える

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人がどんな活動に興味があるのか。選択肢を提示し本人に選んで貰っている。一方で希望が特になければ同一課題になってしまうことがある。 ● 事業所の強味を活かした療育が提供できる手段を職員で探している。 ● 活動ツールなどを共有している。他の利用者の活動報告を確認することから情報や得やすいと言える 	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	33.3%	66.7%	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童一人一人をしっかり観察した上で活動内容を決めている。 ● 営業時間が長いことから、子どもたちのニーズに合わせて臨機応変な対応を取ることが出来ている 	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		33.3%	66.7%	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援内容から、集団活動を必ず設けることは難しいが、自由時間を利用して他児童との交流がある時のフォロー体制はできている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	44.4%	33.3%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き時間を利用して大まかな一日の流れを確認するとにしているが、自ら確認できる職員が限られている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		100%		<ul style="list-style-type: none"> ● 終業時間の違いより終了時に打ち合わせをするのが難しいが、翌日に振り返りを行うときもある。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ● 記録はできるだけ早いうちにとることを職員間で徹底している。
		⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		
⑲		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	33.3%	66.7%		<ul style="list-style-type: none"> ● 地域交流の機会の提供は事業所の特長上難しい面がある。
関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	66.7%	33.3%		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて連携を取っている。保護者が間に立つことが多い。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		66.7%	33.3%	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在該当児童の利用なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		<ul style="list-style-type: none"> ● 就学前の児童の受け入れが今回初めてなので、必要に応じて努めていく

者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	33.3%	66.7%		● 必要があれば対応する
	㉑	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	66.7%	33.3%		● 佐伯区の子ども部会等に積極的に参加している
	㉒	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%	● これまでにその機会がない
	㉓	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	100%			
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	66.7%		33.3%	● 保護者との連携(対面・メール等)は常に取っている
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		66.7%	33.3%	● 必要があれば面談や相談を受け付けている
保護者への説明責任等	㉖	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			● 十分な時間を確保して説明している
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			● 随時面談等を行っている
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	● これまでにそのような機会がない
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			● 迅速に対応している
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			● メールでのお知らせや月刊広報誌を送付している
	㉛	個人情報に十分注意しているか	100%			● 職員同士でもきをつけて声掛けを行っている
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			● カードやパソコンなどのツールを用意して使用している
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%	● 行事などはおこなっていない。必要があれば検討したい
	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			● 確認しやすいように掲示物等でお知らせしている
	㉟	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	66.7%	33.3%		● 職員間で確認している

非常時等の対応	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			● 全員が研修資料・内容を共有できるよう努めている
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	33.3%	66.7%		● 食事の機会はないが、アレルギーに関して必ず書面にて聞き取りを行っている
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	66.7%	33.3%		● 資料を作成し、全体に共有するシステムとなっている